

ニラの1年株利用による露地秋どり作型

本間 隆・岡部和広*・浪波史子

(山形県最上総合支庁農業技術普及課産地研究室・*山形県農業総合研究センター園芸試験場)

Cropping type to chinese chive cultivated in an open field for harvesting in September to October

Takashi HONMA, Kazuhiro OKABE* and Fumiko NAMIWA

(Yamagata Mogami Agricultural Technique Improvement Research Office・*Horticultural Experiment Station, Yamagata Integrated Agricultural Research Center)

1 はじめに

山形県最上地域では、昭和55年から作付けが開始されたニラが主力園芸品目となっており、露地のニラ産地としては日本一を誇る。当地域では、品種‘パワーグリーンベルト’を用いて5月から10月の連続した出荷体系を構築している。ただし、高単価が見込める9月以降（秋どり）の出荷量は不安定で少ない状況にある。また、現地のニラ栽培では、定植の翌年から収穫を行う体系が定着しており、定植1年目の収入は見込めない。そこで、本研究では9月以降の安定生産に向けて、ハウス栽培で2年株と同程度の収量を得ている1年株の利用¹⁾に着目し、露地栽培における1年株利用の体系について検討を行った。

2 試験方法

(1) 【試験1】播種粒数が収量に及ぼす影響

チェーンポットCP304の1セル当たりの播種粒数について、1粒区、2粒区（いずれも2013年3月18日に播種）を設けた。試験規模は1区当たり2㎡とし、2反復とした。

(2) 【試験2】播種時期が収量に及ぼす影響

播種粒数はチェーンポットCP304の1セル当たり1粒とし、2月区（2月18日播種）、3月区（3月18日播種）を設けた。試験規模は1区当たり2㎡とし、2反復とした。

(3) 栽培概要

供試品種は‘ハイパーグリーンベルト’（武蔵野種苗園）、‘たいりょう’（渡辺採種場）とした。栽植様式は畝幅4.0m、条間0.5m、8条植えとし、4月23日に露地ほ場に定植した。施肥量（成分kg/10a）は基肥をN:P₂O₅:K₂O=10.0:12.0:17.0、追肥は生育期間中および刈り捨て後に1回当たりN:P₂O₅:K₂O=2.0:1.2:3.0を施用した。

(4) 調査方法

9月下旬以降の収穫を目標とし、9月4日及び9

月11日に刈り捨てを行い、その後に伸長してきたニラが出荷規格の40cmに到達後に地際から収穫し、調査を行った。

3 試験結果及び考察

(1) 収穫日

‘ハイパーグリーンベルト’は、刈り捨て後の伸長が早く、9月4日刈り捨てで9月27日、9月11日刈り捨てで10月8日にそれぞれ収穫が可能であったため（表1、図1）、秋どりに適していると考えられた。‘たいりょう’は、刈り捨て後の伸長は緩慢であり収量性が低いため、秋どりには不適であると考えられた。

(2) 【試験1】播種粒数が収量に及ぼす影響

両品種ともに1粒区で不良茎の発生が少なく収量が高かった（図2、図3）。‘ハイパーグリーンベルト’では、9月4日の刈り捨てで約150kg/a程度の収量が見込まれた。

(3) 【試験2】播種時期が収量に及ぼす影響

‘ハイパーグリーンベルト’は、2月区で収量が高く、いずれの刈り捨て日においても約150kg/a程度が見込まれた（図4、図5）。‘たいりょう’は3月区で収量が高かったが‘ハイパーグリーンベルト’には及ばなかった。

4 まとめ

ニラ品種‘ハイパーグリーンベルト’を用いた1年株利用の体系は、4月に定植し9月上中旬に刈り捨てすることで、9月下旬から10月上旬にかけて1回の収穫が可能であり、収量性も見込まれた。1年株の体系を組み入れることで、短期間で単価の高い秋期に収益が期待できると考えられた。

引用文献

1) 佐藤隆二, 齋藤容徳, 奥野祐子, 根岸直人, 半田有宏. 2013. ニラの1年株利用による年内作型. 栃木農試研報. 71: 33-43

表1 収穫日

品種	刈り捨て日 (月/日)	収穫日 (月/日)	所要日数 (日)
ハイパー グリーンベルト	9/4	9/27	23
	9/11	10/8	28
たいりょう	9/4	10/21	47
	9/11	10/21	40



図1 収穫したニラ

(左:ハイパーグリーンベルト 右:たいりょう)

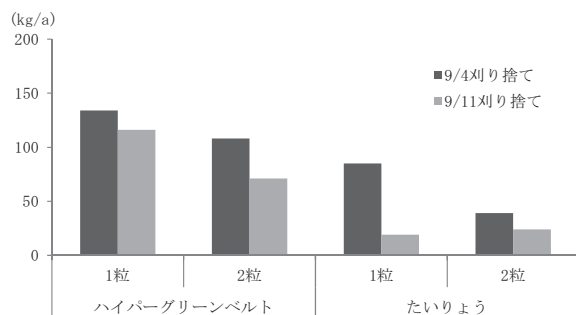


図2 播種粒数が収量に及ぼす影響

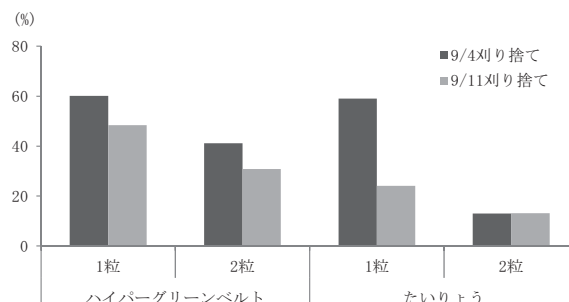


図3 播種粒数が商品割合に及ぼす影響

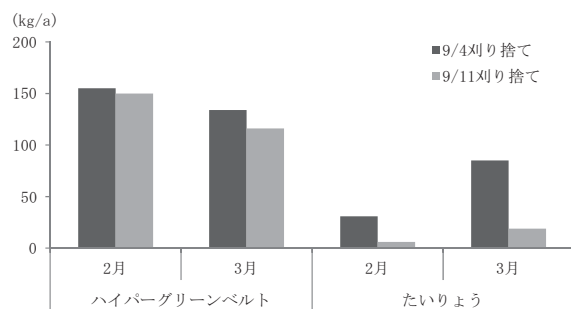


図4 播種時期が収量に及ぼす影響

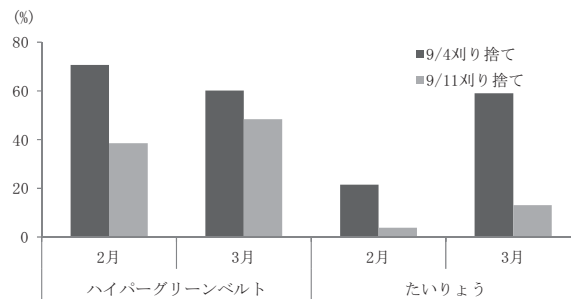


図5 播種粒数が商品割合に及ぼす影響